

第13回松前校区
親子スポーツ大会



▲トロフィーと賞状を手にニコリ
(宗意原チーム)



▲晴天のもと、よい汗を流しました



▲各チーム、一丸となってボールを追います！

松前校区親子スポーツ大会
(松前校区青少年育成会主催、
西公民館後援)が、9月7日
(日)、松前小学校のグラウン
ドと体育館で行われました。
地域の大人と子どもたちと
の交流を通して、親睦と連帯
を深め、青少年の健全育成を
はかり、健康で明るい町づく
り、地域づくりに努めるとい
う目的で行っています。
6チームずつの参加を得て、
和やかな大会になりました。
結果は次の通りでした。

ソフトボールの部

〈予選〉	北黒田	6-3	南黒田
	筒井	7-2	本村
	北黒田	6-2	宗意原
	新立	14-13	本村
	宗意原	8-6	南黒田
	筒井	13-7	新立
〈3位決定戦〉	新立	8-3	宗意原
〈決勝〉	筒井	11-6	北黒田

レクリエーションバレーの部

〈予選〉	本村	15-7	南黒田
	新立	15-11	筒井
	宗意原	15-13	筒井
	筒井	15-3	本村
	筒井	15-4	北黒田
	宗意原	15-8	南黒田
	新立	15-7	北黒田
〈3位決定戦〉	筒井	17-16	本村
〈決勝〉	宗意原	15-9	新立

遊びの中で学ぶもの

松前幼稚園 吉岡友美

子どもたちは、砂場で遊ぶのが大好き。毎日、体じゅう砂だらけになって遊んでいる。「もつと水くんできてー!」「うん、ええよ。」「こっから流してよ。」と声をかけあっている。砂場は、池のように水がたまっている場所からあちらこちらに水の通る川ができています。池を掘る子、川を広げる子、水をくむ子、一人ひとりが自分の役割を自覚し、目をキラキラさせながら忙しそうに動いている。水をくんできた2人は、同時に池になっている所に、バケツいっぱいの水を「バシャー!」とつつす。水は池から川へと流れる。川に流れてきた水の勢いや水の音、その時に裸足にあたる水のここちよさ、友達と声をあげて喜ぶ楽しさ、そんなことが入り交じり、何度も水を流し繰り返し遊んでいる。そのうちに川と川の間が水の勢いで次第に細くなり、そこを水をくんできた子が通った瞬間、砂がくずれ、川が大きく埋もれてしまった。「ああー。」一瞬の静けさがあり、くずしてしまった子は、困った顔を浮かべる。「気をつけてや!」怒りをぶつける子もでてきた。すると側で掘っていた子が、「掘ったらいいんだよ、簡単、簡単。」とくずれた川を掘っていく。その行動で、またみんな動きだし、遊びはじめた。

子どもたちの遊びは、自分が選び、自由に考え、創造するから真剣になるし、そこに責任もある。そして自分を遊びの中に投じることである。遊びを得る。人と共にいられる幸せや誰かが困っていることが分かり、その時どうすればいいか人の気持ちを思い、対処しようとする学びも生まれる。そんな育みが「遊び」の中には学びとしてある。心の根っこを育む幼児期に、遊びを通して人を大切に思い、自分を信じ、自分の心をおぶつけていく強さとやわらかなやさしさを人権意識として身につけてほしいと思う。